

事業所名	関西熱化学株式会社 尼崎事業所
------	-----------------

1 大気汚染防止に係る項目

報告事項	単位	R1	R2	R3	R4						
年間排出量	NOx	kg	19,335	12,889	13,974	13,330					
	算出方法	-	対象設備の原燃料(都市ガス13A)使用量にNO ₂ 排出係数を掛けて算出。								

2 水質汚濁防止に係る項目

報告事項	単位	R1	R2	R3	R4						
年間排出水量	m ³	499,560	484,290	498,740	458,120						
漏えい等水質事故対応訓練	回	2	2	2	1						
有害物質使用特定施設の点検	回	1	1	1	1						
有害物質貯蔵指定施設(A基準適合)の点検	回	1	1	1	1						

3 自動車公害防止に係る項目

報告事項	単位	R1	R2	R3	R4						
エコドライブ講習参加者	人	4	4	0	0						

4 地球温暖化対策に係る項目

報告事項	単位	R1	R2	R3	R4						
電力の年間使用量	電力	kWh	1,345,747	1,349,682	1,355,188	1,332,958					
液体燃料の年間使用量	軽油	kL	7	0	0	0					
気体燃料の年間使用量	都市ガス13A	kNm ³	12,929	8,623	9,733	8,914					

5 産業廃棄物対策に係る項目

報告事項	単位	R1	R2	R3	R4						
産業廃棄物の年間排出量	汚泥	t	51	40	49	50					
	木くず [※]	t	0	0	0	1					
	廃蛍光灯	t				0.2					
	混合廃棄物 ^{※1}	t	1.7	3.4	0	2.0					
電子 manifests の利用率(排出量ベース)	%	導入していない	導入していない	導入していない	60						
再資源化率(マテリアルリサイクルのみ) ^{※2}	%	97	92	100	96						
再資源化率(サーマルリサイクル含む)	%	-	-	-	-						
廃棄物の減量に係る具体的な取り組み	-	汚泥の再資源化									

※1: 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ゴムくずの混合廃棄物

※2: 産業廃棄物の年間排出量全体に占める、汚泥、廃蛍光灯の再資源化(全量セメント原料、ガラス資源)の比率